



御挨拶

東京都立羽村特別支援学校のホームページをご覧ください。本校は、昭和48年度、東京都における「心身障害児希望者全員就学」の方針に基づいて新設された、小学部・中学部・高等部の3学部を設置する知的障害特別支援学校です。障害のある子供たちの「学ぶ場を保障する」ことに尽力された先人の遺志を受け継ぎ、本校を希望して入学した一人一人の児童・生徒が、自分らしく安心して学校生活を送り、健やかに成長していけるよう、全教職員があたかなまなざしで、丁寧に教育活動に取り組んでまいります。

「東京都教育施策大綱」では、東京の目指す教育の姿として「誰一人取り残さず、すべての子供が将来への希望を持って、自ら伸び、育つ教育」が掲げられました。

この理念を踏まえ、本校では「一人一人の可能性を尊重し、生きる力を育てる学校」（すべては子供たちのために）を目指す学校として掲げ、日々の教育実践を積み重ねてまいります。

「一人一人の可能性を尊重する」とは、児童・生徒を一つの枠で捉えるのではなく、それぞれの個性やペース、努力の過程を大切にすることです。日々の学習や学校生活の中で、小さな成長や挑戦を認め合い、その子らしい「できた」「分かった」「やってみたい」という気持ちを育てることを通して、将来につながる生きる力を育成していきます。

この目指す学校の実現に向け、今年度も以下の4つを学校経営の柱を継続・発展させ、学校経営を進めてまいります。

○セーフティ・スクール強化

人権尊重の精神に基づき、安心して通える学校づくりと安全な教育環境の整備

○スペシャリティ・スクール深化

多様な教育的ニーズに応える特別支援教育の専門性を高める学校づくり

○コラボレーション・スクール拡張

保護者や地域、関係機関と連携・協働し、共に子供たちを育てる学校づくり

○スマート・スクール推進

デジタルを効果的に活用し、教育活動の一層の充実を図る学校づくり

児童・生徒一人一人が安心して学校に通い、自分のもつ力を発揮し、可能性を広げていけるよう、教職員がチームとなって教育を進めてまいります。また、地域の特別支援教育のセンター校としての役割を果たし、すべての子供たちの学びと育ちを支える学校であり続けてまいります。

結びに、保護者の皆様、地域の皆様、関係機関の皆様におかれましては、今後とも本校の教育活動に御理解と御支援を賜りますようお願い申し上げます。校長挨拶といたします。

令和8年4月1日
東京都立羽村特別支援学校長 井上 一仁